未来を拓く柔軟な科学的思考力を育む「協同的探究学習」

ー各教科の授業で非定型な課題の本質に迫るー

主催　名古屋大学教育学部附属中・高等学校

「協同的探究学習」は、児童・生徒が自分なりの方法で思考プロセスを表現し、教科の内容を深く理解することのできる、小・中・高各教科や課題研究で実践可能な学習法です。また、仲間と話し合うことで、児童・生徒が主体的に授業に関わろうとし、お互いの考えを聞くことで仲間を認め合うことのできる授業です。

2026 年度「協同的探究学習」研究会日程

研究会	テーマ・教科・科目
第２回（オンライン） **11 月 28 日（土）** **13：00～17：00**	**多様な事象や文章から規則性や原理を見いだし、自分の言葉や図式、動きで表現する力を高める「協同的探究学習」** 英語科、理科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討 保健体育科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討
今年度すでに終了した研究会	
SSH 成果発表会 7 月 3 日（金） 9：10～16：40	**教科を越えて事象の本質を追究し、実践に生きる豊かな思考力を育む** **ー文理融合の視点で教科の学びをつなぎ「STEAM・STEAM+」を支える「協同的探究学習」ー** 【中学校】理科、音楽、STEAM-1、保健体育（保健）、国語の公開授業・検討会 【高等学校】データサイエンス、アカデミックライティング、社会（地理総合）、DEI サイエンス、課題研究 STEAM＋の公開授業・検討会
第１回（オンライン） 7 月 24 日（金） 13：00～17：00	**多様な事象から規則性や原理を見いだし、その根拠を自分の言葉や図式で説明する力を高める「協同的探究学習」** 数学科、社会科（中学校、高等学校）

第２回の研究会では、「多様な事象や文章から規則性や原理を見いだし、自分の言葉や図式、動きで表現する力を高める「協同的探究学習」」をテーマとして、英語科、理科、保健体育科の実践紹介・検討を行います。英語科・理科では、協同的探究学習の趣旨や理念を理解した上で実践している兵庫県加古川市の公立中学校の実践も紹介します。

協同的探究学習の授業では、自分の見いだした考えや表現が他者に認められ、仲間の学びに生かされる喜びが生まれます。また、自分や他者の見いだしたそれぞれの考えや表現をつなげ、クラス全体で包括的な原理や本質の探究が進みます。英語科と理科の発表では、そのような授業を実現する課題設定のポイントと工夫や、それに対して生徒がどのような思考をしたかについて紹介します。保健体育科では、実践報告ののち参加者の皆さんとの意見交換を行います。

また、冒頭の講演と各実践紹介・検討後のご助言を、藤村宣之先生（東京大学）からいただきます。

第２回（オンライン）
多様な事象や文章から規則性や原理を見いだし、自分の言葉や図式、動きで表現する力を高める「協同的探究学習」

２０２６年１１月２８日（土）１３：００～１７：００

第１部	**本日の研究会の趣旨説明**	**１３：００～１３：１０**
第２部	**講演「子どもの多様な発想が生きる授業とは」** **藤村宣之先生（東京大学）**	**１３：１０～１３：３０**
第３部	**英語科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討**	**１３：３０～１４：５０**
第４部	**理科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討**	**１５：００～１６：２０**
第５部	**保健体育科（中学校、高等学校）の実践紹介・検討** **（ラウンドテーブル形式）**	**１６：２０～１７：００**

- 英語科・理科では、本校と兵庫県加古川市内の公立中学校の実践紹介を予定しています。
- 各実践紹介・検討後に藤村先生からのご助言をいただきます。
- 第５部終了後に協同的探究学習などに関する質疑応答の時間も設ける予定です。
- 部分参加も可能です。
- 様々な教科に通じる授業づくりのポイントや工夫などを紹介します。英語科、理科、保健体育科以外の先生方も是非ご参加ください。

対象者	小学校・中学校・高等学校・大学の教員（非常勤講師を含む）、 教育委員会関係者、教員志望・研究者志望の大学生および大学院生
形態	オンライン（Zoom）
会費	無料
申し込み方法	11 月 24 日（火）までに、本校ホームページの申し込みフォーム（https://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp）、または、右の QR コードを読み取りお申し込みください。

講師　東京大学大学院教育学研究科教授　藤村宣之先生

京都大学大学院教育学研究科において博士（教育学）を取得。名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授などを経て現職。専門は、教育心理学、発達心理学。カーネギーメロン大学（アメリカ合衆国）客員研究員、日本学術会議連携会員などを務めてきている。

著書
『「わかる」はどう深まるか―子どもの思考の発達と協同的探究学習―』
（単著、ちとせプレス、2025 年）
『新しい時代の教育方法（第３版）』（共著、有斐閣、2024 年）
『国際的に見る教育のイノベーション―日本の学校の未来を俯瞰する―』
（共著、勁草書房、2023 年）
『発達心理学―周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか―（第２版）』
（編著、ミネルヴァ書房、2019 年）
『協同的探究学習で育む「わかる学力」―豊かな学びと育ちを支えるために―』
（藤村宣之・橘春菜・名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、ミネルヴァ書房、2018 年）
『数学的・科学的リテラシーの心理学―子どもの学力はどう高まるか―』
（単著、有斐閣、2012年）
『協同と探究で「学び」が変わる―個別的・ドリル的学習だけでは育たない力―』
（分担執筆、名古屋大学教育学部附属中・高等学校編著、学事出版、2013年）．　他多数